

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者 /	

起票日	令和 6年 9月 18日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 6 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	5,800 / 円	控 除	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	3 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	300,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	14,010 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	285,990 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	資料費 書籍(必携 法律家・支援者のための生活保護活用マニュアル 外2冊)
----	---------------------------------------

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和6年 10月 - 2日
	住 所			
	名 称	野田 悦子		
	役職等/ 氏名			
	銀行 / 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領 住 所		領 収 印	
氏 名	野田 悦子		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和6年 10月 - 2日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001



負担行為番号

06-000317

伝票番号

06-010512

整理番号

06-000008-03

呼出番号



00621273

06 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧					 			

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和6年9月13日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名

代表者名

野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	5, 8 0 0 円		
内 訳	書籍代 必携 法律家・支援者のための生活保護活用マニュアル 編著・発行 生活保護問題対策全国会議（耕文社）外2冊		
支 払 先	野田 悦子		
予 算 科 目	資料費	交 付 残 額	285,990円
使 用 者 名	野田 悦子		

領 収 書

R6 年 9 月 6 日

野田悦子様

弁護士 小久保 哲郎
〒530-0047 大阪市北区西天満3-14-10
西天満パークビル3号館7階
tel 06(6363)3310 fax 06(6363)3320
登録番号 T9810282015880

領収金額 ￥2,000 -

但し、下記書籍の代金として

書籍名	数量	単価	金額
必携 法律家・支援者のための生活保護活用マニュアル 2024年改訂版	1 冊	¥2,000	¥2,000
合計金額			¥2,000

領 収 書

R6 年 9 月 6 日

野田 悦子 様

弁護士 小久保 哲 郎
〒530-0047 大阪市北区西天満3-14-16
西天満パークビル3号館7階
tel 06(6363)3310 fax 06(6363)3320
登録番号 T9810282015880

領収金額 ￥1,900 -

但し、下記書籍の代金として

書籍名	数量	単価	金額
コロナ禍の東京を駆ける: 緊急事態宣言下の困窮者支援日記	1 冊	¥1,900	¥1,900
合計金額			¥1,900

領 収 書

R6 年 9 月 6 日

野田悦子 様

弁護士 小久保 哲 郎

〒530-0047 大阪市北区西天満3-14-16

西天満パークビル3号館7階

tel 06(6363)3310 fax 06(6363)3320

登録番号 T9810282015880

領収金額 ￥1,900 -

但し、下記書籍の代金として

書籍名	数量	単価	金額
家なき人のとなりで見る社会	1 冊	¥1,900	¥1,900
合計金額			¥1,900

必携 法律家・支援者のための

生活保護活用マニュアル

2024年改訂版

編著・発行 生活保護問題対策全国会議

5年ぶりにQ&Aを 大幅改訂した決定版！

- 「自動車の保有・借用」「海外渡航と生活保護」
などQ&Aを多数新設！
- 扶養照会や大学等への進学、78条（不正受給）
と63条返還に関するQ&Aなどを大幅改訂！
- 「自動車保有」や「扶養照会」に関する申出書
式を掲載！



9784863770898



1920036018185

ISBN978-4-86377-089-8
C0036 ¥1818E

定価(本体1818円＋税)
耕文社

必携 法律家・支援者のための

生活保護活用マニュアル

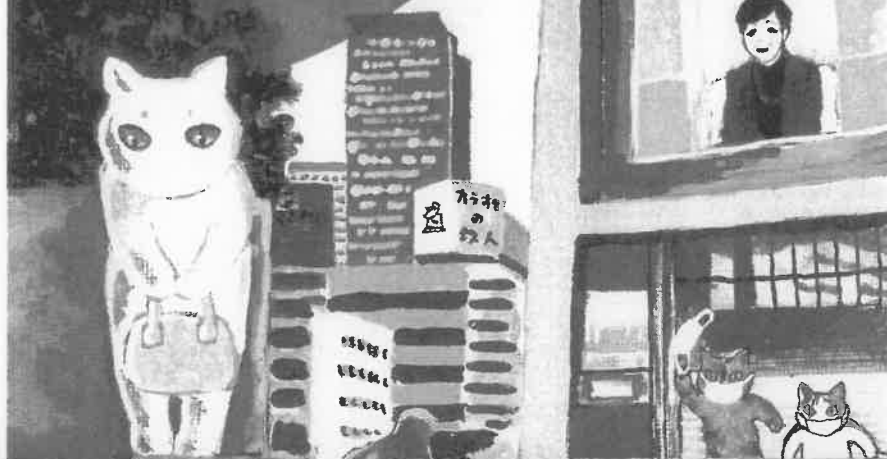
編集・発行 生活保護問題対策全国会議

2024年改訂版

コロナ禍の 東京を駆ける

緊急事態宣言下の困窮者支援日記

稲葉 剛・小林美穂子・和田静香



今日も、誰かの緊急事態

見えないウィルスにビビりながら町を走り回り、助けを
求める人々と出会い、泣き、行政相手に闘い、落ち込み、
支援仲間たちに励ましてもらいながら、今日も出動！



岩波書店

定価(本体1900円+税)

あのとき、何が起こっていたのか？

貴重なドキュメント



9784000614412



1920036019007

ISBN978-4-00-061441-2

C0036 ¥1900E

定価（本体1900円＋税）

岩波書店



貧困がものすごい勢いで拡大する中、福祉事務所や公的機関とのやり取りもストレスフルなことの方が多い毎日で白髪を増やし、髪振り乱して走り回りながら、それでも私はかすかな希望を見ている。コロナが開けたパンドラの箱。コロナがこれまで誤魔化され、隠されてきた貧困を可視化させ、無関係と思っていた人々の身にも迫ることによって無視できなくさせた。……皆さん、ありがとうございます。これからです。（日記5月29日）

定価(税10%)

家なき人の となりで見る社会

小林美穂子



底が抜けた社会に希望を探す

「夜でも青い空が見えることを教えてくれたのは伊藤さんだ」

ちょっとの寄り道のつもりが生活困窮者支援 14 年
笑い、喋り、怒り、うなだれながら奔走する



岩波書店
定価(本体 1900 円 + 税)

これが日本社会の現実、最前線!



9784000616249



1920036019007

ISBN978-4-00-061624-9

C0036 ¥1900E

定価(本体 1900 円 + 税)

岩波書店



私たちの仕事は、辛苦に満ちたいろいろな人生を知ることでもある。あまりに理不尽な人生を背負わされた人たちの苦しむ姿に、心が泣き、乱れ、暴れることもある。……常に言っていることだが、支援は一方向ではない。「支援者」などと偉そうな立場の私たちは、実はいろんな形で利用者や相談者に助けてもらっている。人は存在するだけで双方向に作用するものだからだ。

(「おわりに」より)

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
				**		**		

起票日	令和6年9月27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和6年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		
科 目	款 01 議会費		
	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	80,570 円	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	4 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	300,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	94,580 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	205,420 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名	旅費 10/8~10/10 岩手県盛岡市 第19回全国市議会議長会研究フォーラム参加
摘要	

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和6年 10月-7日
住 所			
名 称	野田 悦子		
役職等/ 氏名			
銀行 / 口座			
口座名義人		債権者番号	

領 収 住 所		領 収 氏 名	野田 悦子	領 収 印	
---------	--	---------	-------	-------	---

上記の金額を領収しました。令和6年 10月-7日

支払済

支出負担行為 確認


泉大津市 会計管理者 あて

001	負担行為番号	06-000317
伝票番号	呼出番号	
06-010892		
整理番号		
06-000008-04		



00622345

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和6年9月26日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名
代表者名

野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	80,570円		
内 訳	10/8～10/10 岩手県盛岡市 第19回全国市議会議長会研究ファースム 参加旅費		
支 払 先	野田 悦子		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	205,420円
使 用 者 名	野田 悦子		

令和6年度

出張申請書

(出張)

会派名	—		氏名	野田 悦子				
出発・帰庁年月日		出発 令和6年10月8日		帰庁 令和6年10月10日				
出張先(順路) トーサイクラシックホール岩手(岩手県盛岡市内丸13ー1)								
目的及び用件 第19回全国市議会議長会研究フォーラム参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
(南海本線)		円	円					
関西空港		720						720
"		peachMM135便						
(飛行機)		(ハ`リュ-ビーチ)						
仙台空港		10,640						10,640
"								
(仙台空港アクセス線)								
仙台		660						660
"			特急料金					
(東北新幹線)			(はやぶさ)	閑散期	2泊	3日		
盛岡	183.5	3,410	3,380	△ 200	30,000	10,500		47,090
"			特急料金					
(東北新幹線)			(はやぶさ)	閑散期				
仙台	183.5	3,410	3,380	△ 200				6,590
"								
(仙台空港アクセス線)								
仙台空港		660						660
"		peachMM140便						
(飛行機)		(ハ`リュ-ビーチ)						
関西空港		13,490						13,490
"								
(南海本線)								
泉大津		720						720
(線)								
(線)							計	80,570
(線)								
(線)								

主管課用

令和6年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	—		氏名	野田 悦子					
出発・帰庁年月日		出発 令和6年10月8日		帰庁 令和6年10月10日					
出張先(順路)							トーサイクラシックホール岩手(岩手県盛岡市内丸13-1)		
目的及び用件							第19回全国市議会議長会研究フォーラム参加		
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
泉大津	km			円	円	円	円	円	
(南海本線)		円	円						
関西空港		720						720	
"		peachMM135便							
(飛行機)		(ハリューピーチ)							
仙台空港		10,640						10,640	
"									
(仙台空港アクセス線)									
仙台		660						660	
"			特急料金	閑散期	2泊	3日			
(東北新幹線)			(はやぶさ)	△ 200	30,000	10,500			
盛岡	183.5	3,410	3,380					47,090	
"			特急料金	閑散期					
(東北新幹線)			(はやぶさ)	△ 200					
仙台	183.5	3,410	3,380					6,590	
"									
(仙台空港アクセス線)									
仙台空港		660						660	
"		peachMM140便							
(飛行機)		(ハリューピーチ)							
関西空港		13,490						13,490	
"									
(南海本線)									
泉大津		720						720	
(線)									
(線)							計	80,570	
(線)									
右の金額領収いたしました。					金額	¥ 80570			
令和 年 月 日					職名	—			
泉大津市会計管理者 殿					氏名	野田 悦子			



領収書
RECEIPT

下記、正に領収いたしました。
This is to certify that Peach Aviation has received the following.

宛名 野田 悦子
RECEIVED FROM

金額 ￥10,640（税込）inc
THE SUM OF

明細 2024/09/26 クレジット支払 ￥10,640
FORM OF PAYMENT Credit Card Payment

但し 航空券, 座席指定・受託手荷物代, 保険料 として
IN PAYMENT OF (ただし、上記領収書には一部の保険料が含まれていない場合があります。含まれていない保険料の領収書をご入用の場合は、保険会社までご連絡ください。また、保険会社の連絡先は保険契約手続き完了後に届くメールをご覧ください。また、「チケットガード」につきましては、AWPチケットガード少額短期保険株式会社で引受確認を行った後配信されます「保険契約確認証（兼領収証）」上で領収証を発行致しますのでそちらをご確認ください。万一、お引き受けできない場合には、保険料相当額を返還いたします。)
TICKET , SEAT ASSIGN AND CHECKED BAGGAGE , INSURANCE FEE
(However, the amount in the receipt may not include some insurance fee. For the receipt of insurance which is not included in the above amount, please contact to the insurance company. For the contact information, please refer to a thank-you mail from the insurance company.)

予約番号 V8X4WP 予約日時 2024/09/26 (Thu)
BOOKING REFERENCE BOOKING DATE 16:43

備考
Remarks

金額 ￥10,640（税込）inc
THE SUM OF
消費税対象(10%) ￥10,640
Subject to consumption tax(10%)
うち、消費税 ￥967
tax

領収書
RECEIPT

下記、正に領収いたしました。
This is to certify that Peach Aviation has received the following.

宛名 野田 悦子
RECEIVED FROM

金額 ￥13,490 (税込) inc
THE SUM OF

明細 2024/09/26 クレジット支払 ￥13,490
FORM OF PAYMENT Credit Card Payment

但し 航空券, 座席指定・受託手荷物代, 保険料として
IN PAYMENT OF (ただし、上記領収書には一部の保険料が含まれていない場合があります。含まれていない保険料の領収書をご入用の場合は、保険会社までご連絡ください。また、保険会社の連絡先は保険契約手続き完了後に届くメールをご覧ください。また、「チケットガード」につきましては、AWPチケットガード少額短期保険株式会社で引受確認を行った後配信されます「保険契約確認証（兼領収証）」上で領収証を発行致しますのでそちらをご確認ください。万一、お引き受けできない場合には、保険料相当額を返還いたします。)

TICKET, SEAT ASSIGN AND CHECKED BAGGAGE, INSURANCE FEE
(However, the amount in the receipt may not include some insurance fee. For the receipt of insurance which is not included in the above amount, please contact to the insurance company. For the contact information, please refer to a thank-you mail from the insurance company.)

予約番号 TYD4HN 予約日時 2024/09/26 (Thu)
BOOKING REFERENCE BOOKING DATE 17:16

備考
Remarks

金額 ￥13,490 (税込) inc
THE SUM OF

消費税対象(10%)	￥13,490
Subject to consumption tax(10%)	
うち、消費税	￥1,226
tax	

第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



「大会テーマ
主権者教育の新たな展開(仮)」

●プログラム(予定)

◆第1日目:10月9日(水)

13:00 開会式
13:20 基調講演
14:40 パネルディスカッション
16:50 終了・移動
18:00 意見交換会
(於:ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING)

◆第2日目:10月10日(木)

9:00 課題討議
11:00 閉会式
11:30 視察

※講師、申込方法等詳細は
決まり次第、全国市議会議
長会ホームページに掲載
します。



※盛岡市の紹介は、
こちらからご覧ください。



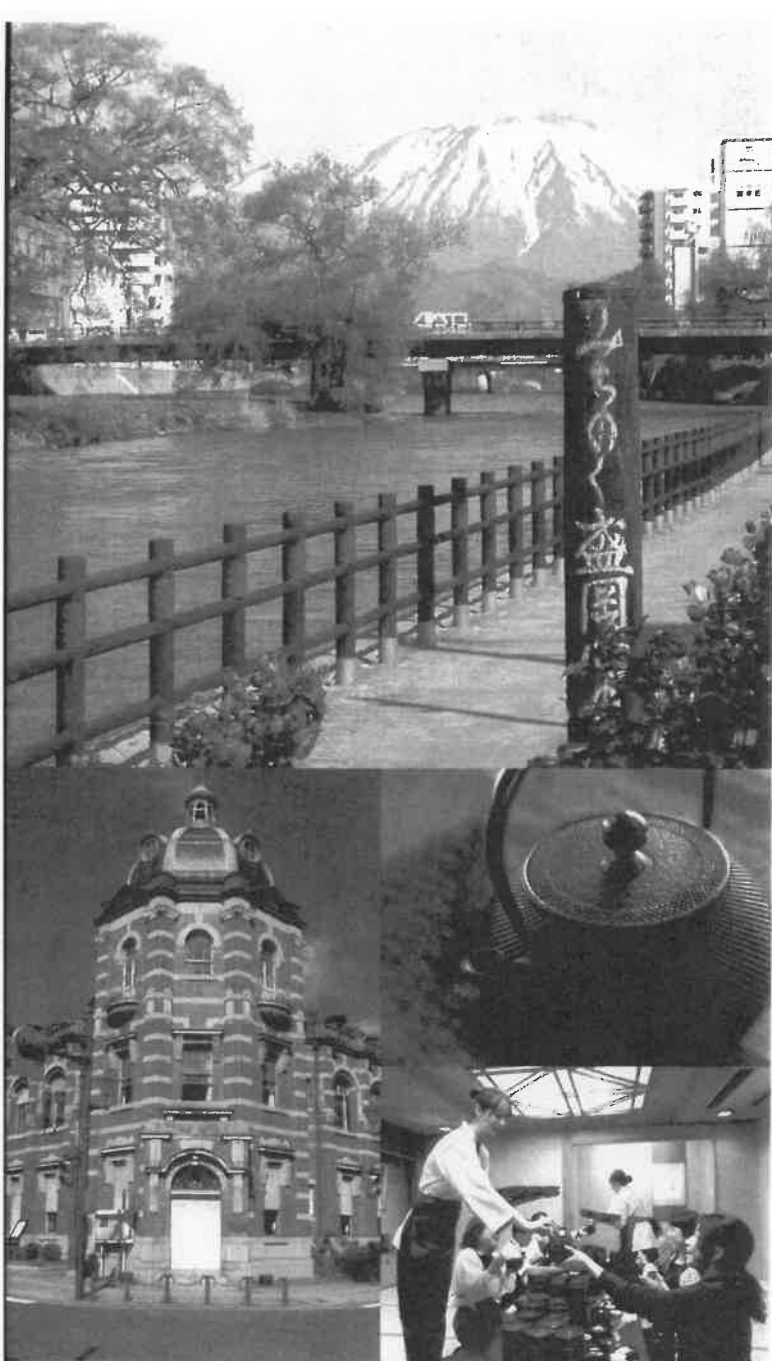
令和6年

10月9日[水]▶10日[木]

トーサイクラシックホール岩手
(岩手県民会館) 岩手県盛岡市内丸13-1

定員 2,300名 参加費 9,000円

- 主催:全国市議会議長会
- 後援:総務省(予定)
- 協賛:全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
- 実施:第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会



■ 供 覽

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	令和6年11月8日								
差 出 名		野田 悦子											
あ て 名		泉大津市議会議長			提出期限								
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付		令和6年11月8日							
件 名		報告書											
議 長		副 議 長		事 務 局 長		次 長		合					
主 管	次長補佐兼 議事調査係長		次長補佐兼 庶務係長		主査		主査		議				
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項													
日 時：令和6年10月8日（火）～令和6年10月10日（木） 出張先：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館） 目 的：第19回全国市議会議長会研究フォーラムに参加													

報 告 書

令和6年11月8日

泉大津市議会議長殿

出張者 野田 悦子 

下記により出張いたしましたので、その概要についてご報告いたします。

記

- 1、 日 時 : 令和6年10月8日(火)～10日(木)
- 2、 出張先 : 岩手県 岩手県民会館・トーサイクラシックホール岩手
- 3、 目 的 : 第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡参加
テーマ 主権者教育の新たな展開

今回の全国市議会議長会研究フォーラムのテーマ「主権者教育の新たな展開」は、これまで中学校における職業講和を議員で行うなど取り組んできた内容でもあり、翌月に控える第一回こども議会の開催に繋がるテーマであるとの視点で臨みました。

今回の研究フォーラムへの参加は当初落選となり一旦諦めていましたが、最終版の繰り上げ当選通知により参加を決定したもので、先に当選が決定し出張の手配が済んだ後の移動手段からホテルの手配など議会事務局にはご無理をお願いすることとなりました。それでも種々の手配を滞りなくしていただき、宿泊先も食事の手配も他の本市議員と同じといただきましたこと、ここで報告と共に感謝申し上げます。

視察先は昨年の都市問題会議の青森に続き二年連続の東北でした。一口で東北と言っても岩手県は東日本大震災の被害を受けた土地で二日目の視察には三陸鉄道が入っているなど、被災後の復興も含めてと考えていましたが今回の繰り上げ当選に視察先の当選は含まれておりませんでしたので、昨年に続き駆け足でもう一度訪れたいと思っていた仙台の「せんだい 3.11 メモリア

ル交流館」と決め、研究フォーラム終了後は早々に仙台に移動しそこでも有意義な時間を持てました。

ただ、衆議院選挙が迫っており基調講演として予定されていた菅元首相はなくなりました。その分パネルディスカッションの時間も内容も充実したものとなっていました。

報告並びに所感

一日目 9 日(水)

ー パネルディスカッション ー

「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター：静岡大学人文社会科学部法学科教授 井柳 美紀氏

＜主権者教育の新たな展開＞

地方自治法の改変から地方議会の役割や、地方議会の主権者教育の在り方にも変化が起きていると議長会による主権者教育の推進を取り上げられた。

○地方議会の課題として

- ・投票率の低下
- ・無投票当選の増加
- ・議員の性別や年齢構成の偏りなどを挙げられ、議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進することとされ、議会による出前講座や模擬議会など議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を講ずることを全国の都道府県・市議会・町村議会が決議した文章から始まりました。

先の統一地方選などの数値をグラフで示しながらの説明、教育基本法の第 8 条(政治教育)や文科省通知の抜粋などで日本には教育の場で教師が偏った主観的な政治教育をしてはならない(政治的中立への過度な配慮)というものを教師は政治教育に携われない(どう携わればよいのかわからない)と誤った受け取り方で 48 年間の主権者教育の空白があると述べられた。私が初当選後の主権者教育で紹介した若い教師の「私も投票に行っても良いのか」という言葉の基本的な背景を改めて実感しました。

大学の生徒間でも国政に対する主権者教育を受けたという声が多く、地方議会は少ない(記憶にない)という、改めて私自身も情報は国政が多かったことに思い至る時間でした。

パネリスト：法政大学法学部教授 土山 希美枝氏

＜誰がための「主権者教育」か＞

研究フォーラムの開始後、そこかしこでわずかに私語が見受けられた会場が、土山氏の「主権者教育というように教育であるのだから、議会が主権者教育をやるとは言わない方が良い」の一言で静まった瞬間が印象的でした。私も驚きこの後は何を話されるのだろうと思わず自分の振り返りように録音したくらいでした。

内容は、海外と比べての数値や、投票年齢を18歳へ引き下げ後の調査など現状から若者と学校現場における主権者教育をどのように考えていくのか、議会はどのように関わっていきけるのかを議会が果たせる役割として、「教育との連携の場として提供する」ことなどが有効とされました。こども議会においても頭の良い子が、良くできた先生の手助けで作られた原稿をただ議場で読むようなこども議会であれば意味がないとおっしゃられていました。

最後に『議会として、こども達が政治家との交流を持つことで、政治意識の醸成に大きく影響するので、今後の主権者教育では一回でも議員の皆様と交流機会を作っていきたい』、そのような関わりであれば議会が取り組む意義があると結ばれました。

本市が企画中のこども議会でも開いたという実績ではなく、こども達が自分たちで作った質問を短い期間でどのように進めることができるだろうかと考えさせられました。そのような場をより広く多くの児童生徒に届けるにはどのようにしていくことが良いか、何ができるかを考えていきたいと思わせていただきました。

パネリスト：一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事 越智 大貴氏
＜若者の政治・社会への意識から考える主権者教育の必要性

ー13年間の主権者教育の取り組みを通してー＞

越智氏は総務省主権者教育アドバイザーの委嘱を受けるに至った経緯を、2011年から学校と実際の世の中をつなぐシチズンシップ教育の活動を続けてこられ、2015年18歳選挙実現をきっかけに主権者教育の活動を学校内外で展開するなどの実績からであり、「よのなかを体験的に学びあう、学生によるこどものまちイベントをプロデュースしているということです。

その仕組みはユニークで現場を知っているが故の真ん中にこどもが居る活動の必要性を、議会だけじゃなく生徒会の役員のなり手不足もあったことを示されました。ではなぜなり手不足になるのか。自分から学校を変えられるとは思っていないことを挙げられていました。そこで浮かんだのは夏にお話を伺いに訪れた小津中学校の取り組みでした。生徒会という型の中だけでなく、誰でも校則や学校をどうしたいかに取り組める様にすることで、人が集まって自分たちの学校をどんな学校にしたいか、自分たちはどうありたいかを話し合えているということでした。人権企画の中で小津中学校の生徒と先生が取り組みと現状を話している時に、後ろに座っていた方が「他の二校がそうになってないのはかわいそう。全校がそうだったら良いのに。」と話しておられたことも残っています。すべて最初があるのですが、これから進むことを期待したいと思っています。

話はそれでしたが、越智氏がやっている WE CITY：こどものまちも仮想のよのなかづくりを異世代の交流や学びあいを大事にしながら体験することで「納得解（自分の意見）」を深めるは小津中学校のどんな学校にしたいかを、どんなよのなかに住みたいかに置き換えて話し合いからまちづくりをすることで、こんなよのなかに住みたい、どうすれば変わるんだろう、変えられるんだろうにつながり、それが「では、今の世の中はどうしてそうになっていないんだろう」と主権者教育の一番根っこの醸成になっていくのではとかがえさせられました。

『どうやってする？』『誰がする？』を成功体験から行動に移せる若者が増えれば実際の社会も変えられると、言える社会をつくるために、私が何をすべきか。何ができるかを考えていきたいと思える時間でした。

パネリスト：読売新聞東京本社 渡辺 嘉久氏

報道の側から見たこれまでの日本を、少し引いた視点で、情報提供者の立場から、先の越智氏の取り組みを見てきた立場から話されました。

情報が未来を左右する！

☆未来を決めるのに必要な情報を持っているか？

☆その情報は正しいか？

この問いは常に感じていることでした。日本にも読売・サンケイ：朝日・毎日新聞、フジサンケイ・読売系：朝日・毎日放送と、同じニュースでも視点が違

うとこうも違うのかと思っていたからです。これはネットの世界ではもっと顕著で、自分の取りたい情報・自分と同じ考えの情報を取りがちであることは早くから言われています。その中で、何をチョイスするか目を持ち、養うことの大切さを問われている気がしました。

今の若者に選挙に行きますか？という問いをすると「行っても変わらない」「よくわからないから行かない」という声を聞きます。しかし、政権交代のあった時の新聞を挙げながら選挙に行けば変わるんだ、60代と10～20代の投票率が同じなら1058万人と1000万人でわずかな差になることを、単純な計算式で出されると私でさえ<おお！>と感ずるので、若い人に選挙に行かないから変わらないんだ、行けば変わる可能性を若者票が持っているのだと伝えたいと思いました。

政治とつながるとは政治が未来であり、政治とつながることは未来とつながること、政治を考えることは未来を考えること、だから人任せにせず「自分の未来を創造する」と意識すること、意識すれば変わるのだと伝えたいと思いました。

パネリスト：盛岡市議会議長 遠藤 政幸氏

<盛岡市議会の取り組み>

盛岡市には市立の高等学校を含め5つの高校を有し平成28年に高校生議会開催の検討を始め、平成29年から開催してきた実績がありました。開催目的は、次代を担う高校生が選挙及び政治並びに身近な地方行政への関心を高めることとして議会の役割や市の施策を身近に感じる機会とできるよう、定例会の議案審査の流れまで疑似体験でもらっているということでした。開催は高校生と議員で意見交換をし提言をまとめるなどに取り組んでおられるそうです。

また地域3大学へも「もりおかmiraiおでかけミーティング」として直接出向き意見交換を行っているとのこと。

本市とは学校数も現在の対象年齢も大きく違うので同じことはできないかもしれないけれど、市が取り組んでいる「未来トーク」などより多くの多様な世代を含む会話の場の提供を市議会としても提供できないか考えていきたいと思いました。

一日目 10 日(木)

— 課題討議 —

「主権者教育の取組報告」

コーディネーター：東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳氏

パネリスト：伊那市議会前議長 白鳥 敏明氏

パネリスト：四日市市議会議員(第 83 代議長) 諸岡 覚氏

パネリスト：山鹿市議会議員 服部 香代氏

コーディネーターの河村氏から選挙についての投票行動に繋がらない原因の一つに選挙と選挙後の連続性が理解できていない傾向があり理解させる必要や主権者教育で感じる限界の打破には地域への愛着や想いがあるとしたうえで、これまでの選挙の仕組みを理解させようと模擬議会へと偏重してきたことを挙げられた。また、政治的中立を意識しすぎるがゆえに政治的発言すら控える学校現場の状況があったことを、前日に続きここでも紹介されました。

また市域の 8 割が森林であり、リニアで変われるはずと伊那市を紹介された白鳥氏からは、人口は本市より約一万人少ないけれど市域が広く公立 3 校、私立 1 校を有するとのこと。

平成 30 年の市議会議員選挙が無投票になったことから、議員全員参加の「魅力ある議会づくり検討会」を設置し、開かれた議会を目指してこられた。そこで高校生の議会傍聴依頼と意見交換会を開催するもコロナ禍に見舞われ令和 4 年度から高校へ訪問して議会傍聴後に意見交換会を行っているを紹介されたが、令和 5 年度からは議員 3～4 人と生徒 2～3 人のグループ懇談など様々に発展しているとお聞きした。それらの取り組みのを通じて高校生から議会へ請願書が提出され議会が検証し、市執行部へ改善要望を提出するなど、若者の意見や気づきを形にすることもできるまでになったと報告を受けました。行うことよりも形にして返すことが大切と高校生向けの意見交換会リーフレットをこれまでの内容を盛り込んで作成、全校へ配布したり、議会の冊子＜議会のトリセツ＞なども作成し活用しているとのことでした。

四日市市の諸岡氏からは、議会の取り組みの紹介に続き「ワイ（四日市）！ワイ（若者）！GIKAI」の出前型意見交換会を地域高校・大学で開催していることなどを経緯から紹介いただいた。徐々に浸透し学校から申込を受け総務都市常任委員会の開催、生徒と議員で選挙ポスターを作成するなど今後の展

望も含め幅広い対象との交流を目指すと抱負もお聞きした。高校生議会は事前に議長の立候補、所信演説をへて投票して決定、テーマごとの委員会をひらくなど、より議会運営に近い形で行われていること「よっかいち市議会だより #こども号」の発行はこどもが夏休みの自由研究にも利活用しているなど、『教えてやるではなく、一緒につくりあげる』姿勢で臨んでいることなどをお聞きした。

山鹿市議会の服部氏からは、どの議会でも課題となっている開かれた議会になっていないこと、住民の理解と関心が得られていないこと、なり手不足から議員のスキルアップが必要であると至り改革としてシチズンシップ教室を開くまでの企画・実施、何が必要かなどを紹介いただいた。絵本「ポリポリ村のみんなしゅしゅぎ」を使うなど、わかりやすい取り組みが紹介された。

どの取り組みも、本市で学ぶべき点などがふんだんにあり有意義な時間となりました。

《所感》

初日の会場では全議員が階段に並び笑顔でお出迎えくださり、開会の壇上では盛岡市の紹介を被り物を被ったり、飽きない形で思わずこちらも笑顔になるスタートでした。

地元のお土産を扱った物産コーナーでは、高校生らが呼び込みから販売のお手伝いまで手伝っておられ、思わず色々と話しながら購入する楽しい時間を得られました。

本市が頑張っていること、もっと深く考えなければならないことなど、多くのヒントをいただけた二日間でした。



議員によるウェルカムパフォーマンス

地元高校生の物販販売



《追加報告》

二日目の午後の視察は繰り上げ当選とは別だったため、帰途途中の仙台に昨年にも訪れた「せんだい 3.11 メモリアル交流館」を中心にじっくりとお話をお聞きするつもりで伺うと、広島からの高校生と一緒に案内・説明してもらえる機会を得ました。その中で、実際に被災された職員の方が「津波は重かった」と話され、体験の真水でさえ圧力に負けそうになると思っていた私は「そうか、泥を巻き上げ流れてくるミズは重いんだ」という当たり前のことを実感しました。

仙台市は東北の被災地の中では被害が少ないとされながらも、実際に被災された方の言葉を生で聞けることの重みを感じる時間となりました。

広島県から来た高校生と共に津波到達当日の様子を聞く

